

質 疑 回 答 書 (建 築 関 係)

工事番号 5-相楽-10

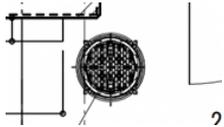
工事名 相楽中部消防組合消防本部(署)新庁舎建設工事

番号	質 問 事 項	回 答 事 項
< 建 築 >		
1	参考数量書 右下105°-ジと右下215°-ジにてEX-03防火水槽標識～EX-09駐車場サインは重複していないでしょうか。	重複しています。105ページを正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。
2	A-501 屋外の汚水槽・防火水槽(土木工事)とありますが、建築着工時は既に築造されていると考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	同上が築造されている場合、工事用の通路と重複します。 その場合の必要な養生方法及び車輛制限があればご提示ください。	耐荷重はT-25での設定ですが、鉄板等の養生により工事中の損傷がないようにご注意ください。
4	設計GL=現状GLではないとありますが、現状地盤高さをご教示ください。	現状地盤面(1期造成工事完了後レベル(本工事開始時))は、構内舗装厚を考慮したレベルでの仕上げとなっています。 別途提示する完成予想図を参照ください。
5	消防本庁(署)棟 土工事の埋戻し及び盛土について、意匠図と構造図の特記仕様書で差異があります。意匠図の特記仕様書を正とし、ピット内の埋戻しはA種と考えて宜しいですか。	お見込みのとおりです。
6	特記仕様書で耐火被覆が不採用となっていますが、トラス屋根鉄骨に耐火塗料があります。材料・工法をご教示ください。	耐火塗料 1時間耐火 (SK耐火コート同等)

7	A-001 土工事 ③山留めの撤去について、仮設図面がありません、山留の想定範囲をお教え下さい。	S-505の地下燃料タンク山留計画図（参考図面）を参照ください。
8	A-001 2. 仮設工事、⑤仮囲い等 ●図示によるとなっておりますが仮設計画図面が見当たりません、任意仮設と考えてよろしいでしょうか。	任意仮設ですが、仮設計画参考図を別途提示します。
9	A-001 2. 仮設工事、①足場等について仮設計画図が見当たりません、任意仮設と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
10	家具(A-236~240・321・503)については同等の機能を有するものであれば良いと考えて宜しいでしょうか、ご教示下さい。	お見込みのとおりです。
11	参考数量書(P215)に遮熱性舗装とありますが、外構配置図(A-501)に「アスファルト舗装範囲については、遮熱性舗装コートとする。」との記載がある事から閲覧設計書(P6・7)のアスファルト舗装部分の遮熱性舗装コートと考えて宜しいでしょうか、ご教示下さい。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
12	上記質疑について、遮熱性舗装又は遮熱性舗装コートの仕様がわかりません。メーカー・品番等あればご教示下さい。	NIPPO パーフェクトクールM同等です。
13	外構01 引揚救助検索通路について下記相違があります。ご教示下さい。 ●確保専用ロープ支持金物（床アンカー） 参考数量書(P264)・・・運用最大荷重:70KN 図面(A-507)・・・運用最大荷重:7KN ●検索通路可倒式ポール・アンカータイプ 参考数量書(P264)・・・12か所 図面(A-507)・・・14か所	図面が正です。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。
14	外構08 想定電柱について参考数量書(P212)では3か所と記載されておりますが、図面(A-501)では訓練棟と車庫棟の間に1か所しか記載がありません。あと2か所はどこでしょうか、ご教示下さい。	配置図が正（1カ所）です。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。

15	<p>参考数量書(P186)に下記項目がありますが、図面ではわかりません。ご教示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1F:Y1通 引揚救助降下表示 W2180×H2200×D200程度 2か所 ●2F:Y1通 引揚救助降下表示 W2180×H2700×D200程度 2か所 	<p>A-432消防訓練金物図(3) OUT13引揚救助降下板詳細図です。ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。なお、項目及び数量の差については、設計変更の対象とします。</p>
16	<p>数量が一式となっている下記項目について内訳があれば頂けないでしょうか、ご教示下さい。</p> <p>【P94】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指令センター、災害情報事務室 免振フリーアクセスフロア H=200 タイルカーペット別計上 ●指令センター・事務室(消防・警防課) 免振装置 鋼板仕上 5600×6200 H=214.5 ●指令センター機械室 免振装置 鋼板仕上 3650×1850 H=303 <p>【P210】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外訓練階段 材工共 <p>【P268】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本庁棟 屋根トラス鉄骨建方機械器具費 ●本庁棟 耐震補強下地鉄骨建方機械器具費 ●本庁棟 外部雑鉄骨建方機械器具費 ●本庁棟 内部雑鉄骨建方機械器具費 ●車庫棟建方機械器具費 ●訓練棟建方機械器具費 <p>【P269】</p> <p>(エポコラム工法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前試験・調査費 配合調査, 六価クロム溶出試験 ●事後試験・調査費 事後ボースリング試験, 頭部コア試験, 一軸圧縮強度試験 <p>(GIコラム-S工法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前試験・調査費 配合調査, 六価クロム溶出試験 ●事後試験・調査費 事後ボースリング試験, 頭部コア試験, 一軸圧縮強度試験 	<p>左記項目については見積り項目であり、細目はありません。ただし、指令センターのフリーアクセスフロアH200タイルカーペット別計上のタイルカーペットは内外装(内部) 1386㎡に含まれています。</p>
17	<p>【共通】特記仕様書(3)の9. 防水工事、5ケイ酸質系塗布防水 において特記事項の文字が重なった部分が有ります。文字が重ならない文章をご提示下さい。</p>	<p>『施工箇所 ●図示による』です。修正した【共通】特記仕様書(3)を別途提示します。</p>
18	<p>A-501図の凡例⑩防火水槽と凡例⑪汚水槽は 土木Ⅱ期工事に有りませんので、現在進行中の造成工事と考えて宜しいでしょうか。土被り、埋設深さがわかる資料をご提示願います。</p>	<p>お見込みのとおりです。土被り、埋設深さは別途提示する耐震性防火水槽詳細図、汚水槽詳細図を参照ください。</p>

19	A-124図-125図 男女の畳コーナーでは、縁無し畳と考えて宜しいでしょうか。平面詳細図で畳コーナーに割付と思われる実線がありますが、この線を割付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
20	A-222図 サイン配置図でIN-05自動扉サインの赤四角凡例が4箇所記載が有ります。A-228図サイン意匠図3では、IN-05は赤丸凡例です。赤四角凡例はIN-04に読み替えて宜しいでしょうか。	自動ドア表示については、A-222図の配置図が正です。(個所数表示) 衝突防止サインについては、A-221のサインリストを正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
21	A-403図-404図の凡例⑩縦格子手摺には『Zn処理の上、リン酸処理』と記載が有りますが、A-425図-426図の分部詳細図には『Zn処理』の記載のみで、リン酸処理の記載が有りません。どちらを正と考えて宜しいでしょうか。	Zn処理の上、リン酸処理を正とします。
22	A-407図D-D断面詳細図にY1通の1階,2階外壁に引揚救助降下表示が有りますが、詳細が不明です。A-432図のOUT-13記載の耐候性塗装(DP)仕上とは別と思われる。立面図をご提示下さい。	A-432消防訓練金物図(3)OUT13引揚救助降下板詳細図です。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量の差については、設計変更の対象とします。
23	外壁:RC(A・P)保護塗料C ※表面リブ加工について、※表面リブ加工の詳細が不明です。御指示下さい。	ウォータージェット回転ハード(超高压ウォータージェットによる意匠深め)、OSHIROXハイブリッドピーリング工法 WJ/H 意匠想定 ウォータージェット仕上 高濃度含侵シリカ+フッ素トップコート 同等品とします。
24	(A-205図) 部分詳細図(外部8)A-A断面詳細図(C部)のEXP. J(屋根コーナー)小口化粧蓋について、参考数量書より1か所となっておりますがe通り側も見込み合計2か所と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。
25	外壁押出成形セメント板自重受金物について、参考数量書より0.5m計上されておりますが該当箇所が不明です。御指示下さい。	東立面、4階押出成形セメント設備開口部(フット取付用四方枠部)です。
26	外壁押出成形セメント板内水切プレートについて、参考数量書より0.5m計上されておりますが該当箇所が不明です。御指示下さい。	東立面、4階押出成形セメント設備開口部(フット取付用四方枠部)です。

27	<p>(A-408図) 1階平面詳細図X2/Y1通りに下図:確保専用ロープ支持金物とありますが詳細が不明です。御指示下さい。</p> 	A-507の外構01詳細図を参照ください。
28	<p>(A-403.406図) PH階階段中壁の仕上について、矩計図(1)より保護塗料(A)となっておりますが立面図よりDP塗と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>立面図のDP塗を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
29	<p>(A-183~185図.190図) SD31の数量について、建具表は2か所ですが、建具キープランでは3か所とくい違います。建具キープランを正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>建具キープランの3か所を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。</p>
30	<p>(A-191図) LD18にH寸法とガラス寸法の記載がありません。H2100でガラスはW80×H1900と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
31	<p>(A-193図) SP4B・5が防火設備ですが、ガラスが強化ガラスでは不適合と思われます。SP3に倣い耐熱強化ガラスに読替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
32	<p>(A-191図) SED1が特定防火設備ですが、ガラスが網入磨きガラスでは不適合と思われます。耐熱強化ガラスt8.0に読替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
33	<p>(A-191図) LD1-1・2A・3・10・18Aの名称欄にリット窓付と記載ありますが、姿図にリット窓がありません。不要とし姿図を正と考えて宜しいでしょうか。否の場合、それぞれ大きさとガラス凡例を御指示下さい。</p>	姿図を正とします。

34	(A-007図. 009図) 特記仕様書(7)でブラインド・ロールスクリーンが適用になっていますが工事区分が不明です。建築工事と考えて宜しいでしょうか。また、ロールスクリーンの品質・規格は図示と記載ありませんが見当たりません。御指示下さい。	建築工事とします。ロールスクリーンについては、ポリエステル製コード式(ニチベイ:フェスタⅡ程度)とします。 メーカー指定ではないため上記同等品以上とします。
35	(A-122図) 1Fエントランスホール等で、5mを超える間仕切LGS壁が見受けられます。補強要領を御指示下さい。	A-219の内40詳細図を参照ください。
36	(A-213図) 床リスト FL-5 RC人研ぎ仕上について、t=50の床下地は増打コンクリートと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
37	(A-122図. 213図) 1F風除室・エントランスホールについて、床 FL-4(RC人研ぎ仕上)～FL-5(炔器質タイル)の取合部分に床見切縁が必要でしたら詳細を御指示下さい。 部分詳細図(内部2)に該当の床見切縁がありません。	タイルと人研ぎの見切り材は不要とします。(人研ぎ部分は3mごとに真鍮目地)
38	(A-144図. 195図) 1Fエントランスホールについて、トップライト廻りの納まりが不明確です。CH=7500～スラブ・梁下まで下がり壁を見込んで宜しいでしょうか。また、仕上はLGS65+石膏ボード t=12.5+12.5+EP-Gとし、塩ビ製見切縁を見込んで宜しいでしょうか。	A-144の通りA面展開図ではスラブ下の垂れ壁は不要です。B面展開図では梁がトップライト下に配置されています。
39	(A-151図. 154図) 1F仮眠室男(17)～(18)について、展開図のD面に壁凡例<L-1-C>(ボード、LGS天井止め)とありますが、その他の面および裏側の更衣室(男)B面の壁凡例が<L-1-A>(ボード、LGSスラブまで)とあるため、同様に<L-1-A>に読み替えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。(L-1-AボードLGS共スラブまでが正です) ※平面図(A-105～107)に示す室名が四角で囲われた室は、法令上スラブまでボード立ち上げと示しています。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
40	(A-154図) 上記の質疑が誤りの場合、1F仮眠室男(17)～(20)の展開図D面に1F仮眠室男(25)～(28)も同様とありますが、そちらについては、壁凡例<L-1-A>と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。(L-1-AボードLGS共スラブまでが正です) ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。

41	(A-101図. 145図) 1F洗濯室・乾燥室の壁仕上について、仕上表はEP-Gとありますが、展開図にはNADとあります。仕上表のEP-Gを正と考えて宜しいでしょうか。	仕上表 (EP-G) を正とします。
42	(A-101図. 124図) 1F下足室について、仕上表に下足箱とありますが、平面図で破線の図示になっています。別途工事と考えて宜しいでしょうか。	下足箱は別途備品対応とします。
43	(A-101図. 122図. 149図) 1Fトレーニング室の下り天井について、仕上表と平面詳細図および展開図で下記のように違いがあります。平面詳細図および展開図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表・・・H=500(天井高3000 一部3500) ・平面詳細図・・・H450(CH=3000 一部3450) ・展開図 ・・・H450	平面詳細図・展開図 (H450) を正とします。
44	(A-101図) 1F廊下1～3について、EP-Gの壁下地が耐水石膏ボードと石膏ボードの2種記載ありますが使い分けが不明です。御指示下さい。	廊下1の洗面前面及び側面をGB-Sとします。それ以外をGB-Rとします。ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
45	(A-126) 1F救急洗浄消毒室のエットシャワーの型番が不明です。御指示下さい。	0812タイプ (汎用品) とします。
46	(A-159図. 212図) 1F車庫の壁について、展開図のA面に凡例F-3-Aがありますが、部分詳細図の凡例に該当がありません。詳細を御指示下さい。	<L-3-A> GB-S t=12.5の上、化粧ケイカル板 t=6 とします。ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
47	(A-118図) 1F階段室1の下り壁見切縁について、A-A断面詳細図では塩ビ製の記載ですがB-B断面詳細図ではアルミ製で違いがあります。塩ビ製を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。

48	(A-157図. 180図) 階段室1について、1Fエントランスホール側の天井仕上が展開図では石膏ボード t=12.5+EP-Gの記載ですが天井伏図では凡例②GB-NC(T) t=9.5の記載となっ ておりくい違います。GB-NC(T) t=9.5を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とし ます。
49	(A-118図. 180図. 181図) 階段室1について、ササ・段裏の仕上が階段室(1)詳細図1ではEP-Gの記載です が天井伏図では保護塗料Bの記載となっております。保護塗料Bを 正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とし ます。
50	(A-103図. 119図. 120図) 階段室1.2について、姿見鏡の記載がありますが仕様が不明です。t=5.0 ス ツルス枠付と考えて宜しいでしょうか。また、下地に合板 t=12を見込んで宜 しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とし ます。
51	(A-104図) 地下ピット及び水槽の仕上が不明です。下記のように考えて宜しいでしょ うか。 異なる場合は、それぞれ、各部位ごとに仕上を御指示下さい。 <地下ピット> ・床・・・コンクリート金鍍 仕上 ・壁・天井・・・打放補修 素地 <水槽> ・床・・・コンクリート金鍍+ウレタン系塗膜塗装 ・壁・・・打放補修+ウレタン系塗膜防水 ・天井・・・打放補修 素地	以下とします。 <地下ピット> ・床・・・コンクリート金鍍 仕上 ・壁・天井・・・打放補修 素地 <水槽> ・床・・・コンクリート金鍍+ポリマーセメント系塗膜防水 ・壁・・・打放補修+ポリマーセメント系塗膜防水 ・天井・・・打放補修 素地 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の 対象とします。
52	(A-104図) ピットについて、釜場内の仕上が不明です。防水珪藻土仕上と考えて宜しいで しょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の 対象とします。
53	(A-219図) 部分詳細図に2tフックとありますが、数量が不明です。御指示下さい。	EV楊重用で1カ所とします。 A-231を参照ください。

54	<p>(A-122図. 150図) 1F男子トイレ(1)の開口部に二方見切りについて、展開図の男子トイレ(共用)に木製二方見切詳細図とありますが、平面詳細図、展開図、木製二方見切詳細図の図示:スチールとく違います。スチールを正と考えて宜しいでしょうか。木製であれば詳細を御指示下さい。</p>	<p>平面詳細図(スチール)を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
55	<p>(A-122図) 平面詳細図 トイレ内に点字紙の様な図示がありますが、点字紙は必要でしょうか。御指示下さい。</p>	<p>必要です。</p>
56	<p>(A-102図. 150図) トイレの鏡について、仕上表備考欄にW450とありますが、展開図W350(下地W450)とく違います。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。仕上表が正であれば下地のサイズを御指示下さい。</p>	<p>展開図を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
57	<p>(A-148図) 多機能トイレのトイレユニットについて、展開図にシーリングの図示がありますが、トイレユニットは設備工事です。シーリングは不要(設備工事に含む)と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>トイレユニットは設備工事ですが、シーリングは建築工事に含みます。</p>
58	<p>(A-103図) 仕上表 多機能トイレの備考欄に服掛けフックの記載がありますが、数量・参考メーカー・品番が不明です。各多機能トイレに1箇所見込んで宜しいでしょうか。また、参考メーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>杉田エース フラットフック同等、多機能トイレに1カ所とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
59	<p>(A-102図. 147図) 1F女子トイレ(3)の床・壁仕上が仕上表と展開図でく違います。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表 床:ビニル床シート 消臭・抗菌・防滑仕様、壁:EP-G ・展開図(正):ビニル床シート、壁:クロス</p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>

60	<p>(A-147図. 150図. 161図) 展開図について、ライング壁に壁凡例がない部屋があります。特記なき限り1F女子トイレ(3)に倣って宜しいでしょうか。 ・1F女子トイレ(3):耐水石膏ボードt=12.5+化粧ケイカル板t=3.0 ・1F男子・女子トイレ(2):耐水合板t=12+化粧ケイカル板t=6.0</p>	<p>耐水石膏ボードt=12.5+化粧ケイカル板t=3.0とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
61	<p>(A-102図. 180図. 150図) 1F男子トイレ(3)の仕上が下記の様くい違います。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 仕上表(正)…壁:EP-G 天井:GB-NC(T) 展開図 …壁:NAD、一部珪器質タイル(図示なし)、天井:GB-P 天井伏図 …天井:GB-NC(T)</p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
62	<p>(A-150図) 展開図に衛生器具取付位置の図示がありますが、図示のない衛生器具があります。下地は必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>図示のない衛生器具については、設備工事(トイレパック商品)です。 ※1階男子トイレ(2)、女子トイレ(2)は建築工事に含まれますが、その他の室は設備工事に含まれます。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
63	<p>(A-102図. 118図. 150図) 1F男子・女子トイレ(2)の壁仕上が仕上表:EP-Gと展開図:NADでくい違います。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>仕上表を正とします。</p>
64	<p>(A-102図. 161図. M-123図) 仕上表 1F男子・女子トイレ(2)の備考欄に手摺、紙巻器の記載がありますが、展開図、衛生器具表に記載がありません。紙巻器のみ見込んで宜しいでしょうか。</p>	<p>手摺、紙巻器とも建築工事とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量の差については、設計変更の対象とします。</p>
65	<p>(A-009図. 102図. M-123図) 仕上表に記載があるトイレの衛生器具類(紙巻器、手摺、鏡等)について、工事区分表に建築工事とありますが、衛生器具表ではトイレエントの付属品に記載があります。建築工事となるものと参考メーカー品番を御指示下さい。</p>	<p>1階男子トイレ(2)、女子トイレ(2)の紙巻器、手摺、鏡は建築工事に含むが、その他の室は設備工事に含まれます。 紙巻器:参考品番 TOTO[YH63B-MS]同等 手摺:参考品番 TOTO[T112CP5S、T112CU22、T112CL9]同等 鏡:参考品番 LIXIL[KF-D5065AG]同等 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量の差については、設計変更の対象とします。</p>

66	<p>(A-103図. 181図. 182図. 164図. 173図) 2. 3F多機能トイレの天井仕上が下記の様にくい違います。1F多機能トイレ:GB-P+EP-Gを正と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表…共通 GB-P+EP-G ・天井伏図…2F GB-NC(T)、3F GB-P+EP-G ・展開図:2. 3F GB-NC(T)</p>	<p>仕上表を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
67	<p>(A-103図. 129図. 135図) 2. 3Fトイレの天井高さについて、仕上表では共通 H2600とありますが、平面詳細図ではH=2500/2600/2700と使い分けがあります。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>平面詳細図を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
68	<p>(A-164図. 190図) 2F多機能トイレの窓:AW13について、建具リストに膳板W140の記載がありますが、展開図 DS上部W755とくい違います。建具リストを正と考え、W615範囲は壁仕上・天井仕上に倣って宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
69	<p>(A-129図) 2F多機能トイレにベビーキープ、おむつ交換台の記載がありますが、工事区分が不明です。建築工事と考えて宜しいでしょうか。宜しければ参考メーカー品番を御指示下さい。</p>	<p>建築工事とします。 ベビーキープ：TOTO[YKA16S]同等、おむつ交換台：TOTO[YKA24]同等 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
70	<p>(A-122図. 129図) 1F男子トイレ(3)と2. 3F男子トイレの小便器前に関して、1Fは汚垂タイルとありますが、2. 3Fは汚垂部仕上張分けとあります。2. 3F汚垂部に点字鋸がある為、仕上張分けとしているならば、1Fも仕上張分けと思われます。仕上張分けと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
71	<p>(A-101図. 150図) 1Fトイレ前通路の巾木仕上が仕上表ではVBとW(杉)の使い分けがありますが、展開図では杉の記載しかありません。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>仕上げ表(使い分け)を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>

72	(A-422図. 423図) SD7が建具表で特定防火設備ですが、建具キープでは特定防火設備の凡例が無くくい違います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
73	(A-423図. 426図) SD6の枠見込・ガラリ・性能等級欄に詳細図によると記載ありますが、部分詳細図(外部2)外09にSD6と記載ありますが、詳細はSD8を表しており、SD6の詳細図がありません。詳細を御指示下さい。	A-430 消防訓練金物図(1) IN07を参照ください。
74	(A-509図. S-505図) 地下燃料タンクについて、外構詳細図に捨てコンt=60・砕石t=60と文字で記載がありますが、構造図では捨てコンt=50・地盤改良体とくい違います。構造図正と考えて宜しいでしょうか。	構造図を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
75	(S-505図) 地下燃料タンク地盤改良体H寸法について、山留計画図ではH=2000ですが、標準貫入試験断面ではH=1950とくい違います。H=1950正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 捨てコン50mmと合わせて2000mmです。
76	(A-501図) 外構工作物について、コンクリート強度が不明です。特記なきかぎりFC-24 S-15(捨てコンクリートFC-18 S-15)と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 S-501に記載しています。
77	現況におきまして、設計GL±0としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	番号4の回答のとおりです。
78	アルミ底におきまして、メーカー・品番が下記で相違します。○印を適用としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ○部分詳細図(外部13) アルフィン AP-60 ×外部仕上表 アルボリックfr NM-1888同等 <A-101. A-210>	メーカー指定はありません。不燃性の仕様としてください。

79	<p>2階1-2/A通りエントランスホール吹抜前の軒天におきまして、仕上が下記で相違します。○印を適用としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p> <p>○矩計図(2) 耐水合板 t=9+突板練付不燃板 t=6 ×2階天井伏図 凡例20 ケイカル板 t=5 EP-G <A-113. A-181></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
80	<p>2階天井伏図7/A通りに図示の呼び樋におきまして、上階および下階樋位置と適用しません。不要としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。</p> <p><A-181></p>	<p>必要です。立面図上に記載の⑩の庇雨水を接続しています。</p>
81	<p>サインのIN12 BY室名サインにおきまして、サインリストに車庫棟 5か所、訓練棟 19か所とありますが、該当の配置図がありません。サインリストの車庫棟 5か所、訓練棟 19か所をそれぞれ見込むとしてよろしいでしょうか。異なる場合は、それぞれの数量をご指示下さい。</p> <p><A-221></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
82	<p>1F風除室におきまして、収納式傘立ての工事区分が不明です。建築工事としてよろしいでしょうか。その場合、仕様をご指示下さい。</p> <p><A-101. 122. 144></p>	<p>建築工事とします。 パネル：壁材貼り仕様 傘立て：収納式 鍵仕様：鍵シリンダータイプ 参考品：ヒガノ株式会社PIR-C11-1312H-ST-R1 1同等</p>
83	<p>1F風除室におきまして、内部仕上表に点字鋸の記載がありますが平面詳細図に図示が見当たりません。仕様・数量をご指示下さい。</p> <p><A-101. 122></p>	<p>風除室に点字鋸はありません。平面詳細図を正とします。</p>
84	<p>1F食堂におきまして、仕上表の壁にマシン化粧板とありますが、展開図に該当の記載がありません。システムキッチンのパックボード化粧ケイカル板のこととしてよろしいでしょうか。異なる場合は、適用範囲をご指示下さい。</p> <p><A-101. 145></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>

85	<p>上記の質疑を正とした場合、仕上表はマニ化粧板とありますが、展開図は化粧が加板とあります。仕上表を正としマニ化粧板としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-101. 145></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
86	<p>1F食堂の壁下地におきまして、展開図でシステムキッチン裏側が凡例L-3-B<耐水石膏ボード t12.5+仕上>とありますが、同じ場所のバックボード下地は凡例L-1-B<耐水石膏ボード t=12.5+12.5+仕上>とあります。バックボードについても同様にL-3<耐水石膏ボード t12.5>としてよろしいでしょうか。 ご指示下さい。 <A-145></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
87	<p>2F署長室におきまして、仕上表に壁面材付ボードとありますが、平面詳細図および展開図に該当の記載がありません。不要としてよろしいでしょうか。異なる場合は、該当の範囲をご指示下さい。 <A-102. 128. 169></p>	<p>不要とします。</p>
88	<p>上記の質疑を正とした場合、その他の部屋でも仕上表に明記あるが、平面詳細図等に範囲の記載の無い部屋があります。同様に不要としてよろしいでしょうか。異なる場合は、範囲図等で各部屋の壁面材付ボード貼りの範囲を改めてご指示下さい。</p>	<p>壁面ホワイトボード貼りはありません。(ホワイトボードスクリーンと記載の所はホワイトボードスクリーンがあります)</p>
89	<p>2F会議室等の躯体表し、FL+2700 突板練付不燃板におきまして、仕上表に廻り縁の記載がありません。不要としてよろしいでしょうか。異なる場合は、仕様あるいはメーカー品番をご指示下さい。 <A-192></p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
90	<p>3F消防長室におきまして、天井伏図にビクチャーレールとありますが、仕上表にありません。見込むとしてよろしいでしょうか。また、その他の部屋も仕上表になく、天井伏図の図示がある場合、同様に見込むとしてよろしいでしょうか。 <A-102. 182></p>	<p>天井伏図を正とします。(必要です) ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
91	<p>内13 天井 突板練付不燃板 透かし張り 詳細図で揚裏部分の合板 t=12 W=50<通し>にNP塗装の記載がありますが見隠れ部分の為不要としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-214></p>	<p>透かし張りで見えかかりがあるため塗装は必要です。</p>

92	LGS壁の5mを超える場合の補強要領を御指示下さい。 〈A-122〉	番号35の回答のとおりです。
93	1F倉庫4の中量ラックにおきまして、家具図にW1200×D571とW900×D571が1台ずつありますが、平面詳細図はW1500程度が1台のみとなっています。W1500 1台を正としてよろしいでしょうか。異なる場合は、各寸法ごとの適用か所をご指示下さい。 〈A-124. 238〉	家具図（中庸ラック2か所）を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
94	3F消防長室 外壁面にサッシ方立が必要だと思われませんが、詳細がありません。参考内訳通り、サッシ製、間仕切見込み160、額縁D140程度としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈A-137. 参考数量書P59〉	お見込みのとおりです。
95	木工事の胴縁におきまして、参考数量書に@300と@450の2種類がありますが、使い分けが不明です。それぞれの適用か所をご指示下さい。 〈参考数量書P43〉	【消防本庁（署）棟】部分詳細図（内部1）内01壁リスト 壁ディテールa-3、a-4、g に木胴縁が出てきますが、ピッチが記載されているものはそのピッチとし、記載無きものは450以下とします。
96	壁紙下の石膏ボードにおきまして、参考数量書の石膏ボードおよび耐水石膏ボードの仕様に継目処置〈クロス下〉共と記載ある項目ありますが、仕上表の適用事項には壁紙張りの石膏ボードは突付V目地工法とあります。壁紙にクロスは含むものとし、仕上表の突付V目地工法としてよろしいでしょうか。異なる場合は、突付V目地工法に該当する壁紙をご指示下さい。 〈A-101. 参考数量書P87～88〉	継ぎ目処理工法を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
97	ブラインド本体におきまして、工事区分表にありません。特記仕様書(7)、参考内訳書より、建築工事としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈A-007. 参考内訳書P103〉	お見込みのとおりです。
98	強化石膏ボードt=21+21について、参考内訳書P88ではバラして計上があり、参考内訳書P89では耐火間仕切のセト品で計上があります。それぞれの範囲を計上しているか不明です。ご指示下さい。 〈参考内訳書P88. 89〉	間仕切記号：L-4-3・L-4-5を計上し、部分詳細図（内部1）でa-3・a-5は一般間仕切なので分けて計上しています。

99	<p>サインのIN06 EV前点字付階数表示板におきまして、サインリストに1F 1か所とありますが、サイン配置図には×6と記載があります。サインリストを正とし、1Fは1か所としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-221. 222></p>	<p>1か所が正です。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
100	<p>サインの自動ドア表示および衝突防止サインにおきまして、サインリストはIN04自動ドア表示、IN05衝突防止サインとありますが、サイン配置図ではIN05が自動ドア表示、IN04が衝突防止サインとありますが、サインリストを正とし、IN04自動ドア表示、IN05衝突防止サインとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-221. 222></p>	<p>番号20の回答のとおりです。</p>
101	<p>サインのIN04自動ドア表示におきまして、サインリストは適用無しの数量0とありますが、サイン配置図では、1FにIN05<IN04>自動ドア表示が×4とあります。サイン配置図を正とし4か所見込むとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-221. 222></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
102	<p>サインのIN16 多目的トイレにおきまして、サインリストは1F 1か所のみとありますが、サイン配置図では1～3Fに各1か所ずつ計3か所あります。サイン配置図を正とし、3か所見込むとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-221. 223～224></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
103	<p>サインのEX-06駐車場サイン-1<来庁者>およびEX-07駐車場サイン-2<公用車>の数量におきまして、サインリストおよびサイン配置図と参考数量書で下記で相違します。○印を適用としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <○サインリスト・サイン配置図> ・EX-06駐車場サイン-1<来庁者>・・・11か所 ・EX-07駐車場サイン-2<公用車>・・・ 8か所 <×参考数量書> ・EX-06駐車場サイン-1<来庁者>・・・12か所 ・EX-07駐車場サイン-2<公用車>・・・ 5か所 <A-221. 225. 参考数量書P106></p>	<p>お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。</p>
104	<p>ロールスクリーンの仕様または参考メーカー品番をご指示下さい。 <A-007></p>	<p>番号34の回答のとおりです。</p>

105	1F倉庫および油庫の仕上表にコーナーガードと記載がありますが、平面詳細図等に記載がなく設置か所が不明です。不要としてよろしいでしょうか。異なる場合は各部屋の設置か所をご指示下さい。 <A-172. 301>	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
106	1F油庫におきまして、巾木の床材立上げの高さが下記で相違します。 ○印を適用としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ○仕上表・・・H=100 ×展開図・・・H=180 <A-172. 311>	展開図を正とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
107	車庫棟のコーナーガードの仕様が不明です。消防本庁署棟に倣うとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-308>	お見込みのとおりです。
108	4F燃焼室におきまして、四方枠の厚みが下記で相違します。 ○印を適用としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ○平面詳細図・・・スチール t=2.3 ×展開図・・・スチール t=1.6 <A-411. 419>	お見込みのとおりです。
109	SD31の数量におきまして数量が下記で相違します。○印を適用としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ○～～建具キープラ3か所 ×～～建具表2か所 <A-183～185. 190>	番号29の回答のとおりです。
110	SD21の名称が片開き戸ですが、姿図は両開き戸と相違します。姿図を正としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <A-190>	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。

111	SD22の名称が片開き框戸ですが、姿図は両開き框戸と相違します。姿図を正としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈A-190〉	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
112	SP5の防火設備におきまして、ガラスが強化ガラスでは不適合と考えられます。耐熱強化ガラスt=8.0としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈A-193〉	お見込みのとおりです。(メーカー防火設備認定対応としてください) ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
113	AW1Aがスチール [®] 板嵌込みですが、スチール板でt=3.0の板厚は無いと考えられます。T=3.2としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈A-423〉	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
114	設備フット [®] 取付用四方枠におきまして、建具表のSF4の事としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈参考数量書P172. A-424〉	お見込みのとおりです。
115	AW1Aの面格子におきまして、材質・形式が不明です。アルミ製の縦型格子としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈A-423〉	A-430消防訓練金物図(1) out11ルーバー破壊訓練詳細図です。
< 構 造 >		
116	消防本庁(署)棟の車庫の土間の配筋ですが、D10@200がバルコニー共と考えて宜しいですか。	S-133の車庫配筋図を参照ください。
117	消防本庁舎(署)棟地盤改良について、ボール [®] コラム工法同等と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし変更する場合は、エポコラムにて構造審査(確認申請・適合性判定)しておりますので、要求される耐力が確保できているかを受注者で確認(計算書の作成含む)し、軽微変更対応が必要です。

118	車庫棟地盤改良について、GIコラム-S工法同等と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし変更する場合は、GIコラム-Sにて構造審査（確認申請・適合性判定）しておりますので、要求される耐力が確保できているかを受注者で確認（計算書の作成含む）し、軽微変更対応が必要です。
119	ガス圧接継手の試験について、A-002(意匠図)より超音波深傷試験と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 S-101, S-301, S-401を参照ください。
120	<p>コンクリート工事の混和材・防錆剤について下記相違があります。構造特記仕様書を正として鉄筋コンクリート用防錆剤及びフライッシュは不要と考えて宜しいでしょうか、ご教示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【共通】特記仕様書(2) [A-002] AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種(JIS A 6204) 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025) フライッシュ(JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ●【消防本庁(署)】構造特記仕様書(1) [S-101] AE減水剤 ●【車庫棟】構造特記仕様書(1) [S-301] AE減水剤 ●【訓練棟】構造特記仕様書(1) [S-401] AE減水剤 ●【その他】構造特記仕様書(1) [S-501] AE減水剤 	お見込みのとおりです。
121	<p>上記質疑回答で鉄筋コンクリート用防錆剤、フライッシュが必要な場合、下記についてご教示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鉄筋コンクリート用防錆剤 メーカー及び品番をご教示下さい。 使用する配合をご教示下さい。 ●フライッシュ 使用する配合ごとに使用する種類をご教示下さい。 	不要です。

122	地盤改良(ホコラム工法・GIコラム-S工法・表層混合処理工法)については、同等工法と考えると宜しいでしょうか、ご教示下さい。	番号117、118の回答のとおりです。
123	S-101 6コンクリート工事 6-4試験 において、骨材の塩分含有量試験及びアルカリシリカ反応試験を行うと有りますが、コンクリート製造業者への骨材納入業者が外部試験機関で定期的に行った試験成績書のコピーの提出に代えても宜しいですか。	骨材の塩分含有量試験及びアルカリシリカ反応試験は、外部試験機関で定期的に行った試験成績書のコピーの提出に代えても問題ないと考えますが、施工前に監督職員と協議してください。
124	S-101 6コンクリート工事 6-4試験、S-102 9-3-4 に記載の躯体のせき板取り外し決定及び支柱の最小存置期間決定の為の圧縮強度試験は、自主検査と考えると宜しいですか。	公共建築工事標準仕様書に倣ってください。
125	7通り/B通り～C通り2G2上梁スリーブの有無が下記のように相違しています。7通り軸組図を正と考えると宜しいでしょうか。S-108図、S-117図 <ul style="list-style-type: none"> ・2階床梁伏図:無し ・7通り軸組図:100Φ×1ヶ所、150φ×3ヶ所 	軸組図を正とします。 施工時は設備図と合わせてご確認ください。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
126	S-107 脱落防止立ち上がりコンクリートの配筋が不明です。ご指示ください。	S-135の風向き・風速計用基礎と同様の配筋として下さい。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
127	S-103 地盤改良の範囲(耐圧版及び車庫土間)の地業に砕石は不要と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
128	A-115 車庫の土間下にも防湿シートは必要と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。

129	車庫内の鉄骨は構造図（S-143継手詳細図より）柱・梁すべて溶融亜鉛メッキ処理（表面仕上げがDP塗装のためリン酸処理）と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。（柱は耐火塗料仕上げとなります。） 柱でRCに埋め込む範囲以外は溶融亜鉛メッキとして下さい。
130	図面番号S-012の特記仕様書 § 5. 施工の2. コラム余長について、10cm以上となっておりますが、改良長に含むのでしょうか。又、各棟共通と考えて宜しいでしょうか。	含みません。エポコラムのみです。
131	S-303 地盤改良の範囲（F1, F2基礎）の地業に砕石は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
132	車庫鉄骨（間柱符号：P 3・4）において 柱脚にスライディングパッドが記載されております。 スライディングパッド（摺動面）に掛かる荷重が必要とのことで 想定荷重を教えてください。	スライディングパッドに作用する最大軸力=64kN スライディングパッド面積=0.0625㎡ (0.25m×0.25m) 面圧=64/0.0625=1024kN/㎡ (0.001024MPa)
133	S-403 地盤改良の範囲（F1, F2基礎）の地業に砕石は不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
134	構造スリット振れ止め筋におきまして、防錆処理を施すとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-317.415>	お見込みのとおりです。 またS-133に記載の構造スリット振れ止め筋も同様、防錆処理を施してください。
135	設備基礎におきまして、躯体コンクリートと同強度としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-301.401>	躯体と同時打設の場合は躯体コンクリートと同強度とし、それ以外はFc24（スラブ18cm）とします。
136	特記なき限り、ベースモルタルの厚みはt=30としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	お見込みのとおりです。

137	壁スリット配筋要領図のスリット厚におきまして、図では柱に取りつく鉛直スリット厚がt=25mmとありますが、※ではt=30mmと記載があります。鉛直スリット厚はt=30mm、水平スリットはt=25mmとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-133>	お見込みのとおりです。
138	3階A通りの片持ちスラブCS1Aにおきまして、スラブの出幅が以下の様にくい違っています。○印を正としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ○軸組図、矩計図 A通り芯から1650 ×3階伏図 A通り芯から1850 <S-109, S-116, A-112>	お見込みのとおりです。
139	2階の1/B-C間のG2Aにおきまして、カーテンウォール部の雑配筋図には梁下300の打増しと見受けられますが、伏図と軸組図には記載がありません。梁下打増しを行うとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-108, S-116, S-132>	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
140	2階の7-11/d間のG7Aにおきまして、梁側打増しの記載がありますが、配筋要領は3階の7-8/AのCG1打増し配筋要領を使用するとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-108, S-134>	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
141	脱落防止立上りコンクリートにおきまして、雑配筋図では柱梁打増し配筋要領図と同様の記載がありますが、下記としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ・主筋 D19@200 ・フープ筋 D13@200 <S-133>	番号126の回答のとおりです。
142	3階梁におきまして、A通架構配筋図より、G1, G1Aの上端主筋カット長さが1-2間と6-7間は2100、2-6間は2000となっていますが、E通りのG1も同様にしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-109, S-127, S-128>	お見込みのとおりです。

143	2階梁G10Aにおきまして、右端部のカット長さ以下の様に違いがあります。○印を正としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ○14通架構配筋図 Lb=1450 ×大梁断面リスト Lb=1800 <S-121, S-130>	Lb=1800が正となります。15通りも同様です。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
144	構造図記載のハイトライト上部の片持ちスラブにおきまして、意匠の矩計図と断面図に記載がありません。適用箇所はなしとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-133, A-114, A-144>	適用箇所はなしです。
145	基礎伏図にEVピット下のFS1は400嵩上げと記載がありますが、打増し配筋要領がありません。下記としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ・D19@200ダブルクロス <S-106>	D13@200ダブルとします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
146	土間コンクリート下の地業におきまして、構造図ではH=1.0mの浅層混合処理工法と記載がありますが、意匠のA-A断面詳細図には記載がありません。浅層混合処理を行うとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-103, A-115>	構造図に記載のとおりとします。
147	基礎伏図の8/C-e間のFG8におきまして、構造図と意匠図とで位置が違いがあります。構造図記載の位置を正としてよろしいでしょうか。 また、上記の場合、意匠のE-E詳細断面図に記載の地業は他の土間スラブ地業と同等としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-106, A-104, A-117>	構造図を正とします。 8通りまではFS1で8通り～14通りまで土間(S-107)とし、土間はS-133を参照ください。
148	各階壁に貫通孔が見受けられますが、補強配筋要領が不明です。下記としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ・縦横斜め 2-D13<1方> L=L1*2 <S-111～118>	鉄筋切断することになる部位に下記のとおり実施下さい。 200mm厚以下 縦横斜め 1-D13<1方> ※L1はS-004参照 200mm厚超え 縦横斜め 1-D19<1方> ※L1はS-004参照 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
149	玄関庇のコンクリート部材のコンクリート仕様におきまして、スランプ値が不明です。S15cmとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 <S-136>	Fc=21N/mm ² の表記はFc=24N/mm ² の間違いで、スランプは基礎15cm、壁、柱は18cmとして下さい。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。

150	架構図におきまして、本庁部には定着金物の使用は無いように見られます。該当無しとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈S-127〉	S-121の2FLの梁に使用する箇所を記載しています。
151	参考数量書におきまして、型枠にて円柱型枠とありますが、該当部が不明です。ご指示下さい。 〈参考数量書〉	S-136 玄関底 支柱 (φ101.6) の足元の根巻コンφ200が該当箇所になります。
152	土間下の地業におきまして、断熱材の施工範囲は建物内部(点検用ピット下は除く)としてよろしいでしょうか。また、同範囲に防湿シートt=0.15も施工するとしてよろしいでしょうか。併せてご指示下さい。 〈S-304. A-301〉	ピット下についても断熱・防湿シートありとします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
153	スラブ段差部の補強におきまして、配筋は下記の通りとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 ・長辺方向 4-D13 〈S-304〉	S-133の段違い床スラブ配筋要領図と同様とします。
154	特記におきまして、埋戻しは搬入土となっていますが、参考数量書では発生土とあります。搬入土としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈S-301〉	庁舎ピット内埋戻しのみ搬入土とし、それ以外は発生土とします。
155	参考数量書より、土間コン境界部にエラストイトt20を見込むとしてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈参考数量書〉	A-308 1階平面詳細図 建物と土間コンの境界にエラストイト目地切を記載しています。厚みは20mmです。
156	特記におきまして、埋戻しは搬入土となっていますが、参考数量書では発生土とあります。搬入土としてよろしいでしょうか。ご指示下さい。 〈S-401〉	番号154の回答のとおりです。
〈 電 気 設 備 〉		

157	E-017・102, M-106・114 動力制御盤リスト, 幹線・動力設備図で車庫のルーファン(RF-1:3φ)電源及び点灯方式が不明な為、御指示頂けますでしょうか。	<p>1M-1から電源供給、発停は手動とし、1M-1に押釦を設けることとさせていただきます。これに伴い、下記の変更を見込んでください。</p> <p>1M-1 主遮断器 MCCB50AF/50AT→MCCB100AF/100AT 変更 分岐遮断器 ELCB50AF/15AT×6 追加</p> <p>1M1幹線 CET38° →CET60° 変更</p> <p>受変電設備動力盤(1) 1M1遮断器(1M1) MCCB50AF/50AT→MCCB100AF/100AT 変更</p> <p>ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
158	E-111, M-105・106 換気設備 機器表に24時間換気スイッチ(付属品)がありますが、電灯設備図に仮眠室 照明換気スイッチ詳細図や凡例に注記がある為、24時間換気スイッチは電気設備図を正と考えて宜しいでしょうか(但し、リモコンは機械設備)。	<p>換気設備機器表に記載の24時間換気スイッチ(付属品)を正としてください。E-111に記載の仮眠室換気扇用ON-OFFスイッチおよびリモコンリレーは不要としてください。</p> <p>ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。</p>
159	E-001 特記仕様書の耐震施工は特定となっておりますが、ケーブルラックの記載がないように思いますので、不要と考えてよろしいでしょうか。 必要の場合耐震クラスはSA種で宜しいでしょうか。	<p>電気配線、ケーブルラックについても耐震施工は必要です。</p> <p>公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に基づき、特定の施設として、必要に応じた耐震クラス、耐震種別としてください。</p>
160	E-005 変圧器の防振装置についての記載がありません。 キュービクルが地上設置の為、防振ゴムとして考えて宜しいでしょうか。	防振ゴムとしてください。

161	E-013・E-101他 注記にて天井ルーバー部のケーブルラックは指定色(黒、艶なし)、同じく照明器具等の支持材(吊りボルト、チャンネル鋼等)は黒色塗装とする、と記載がありますが、意匠図では具体的に『天井ルーバー部』という記載がございません。 意匠図仕上表にて、『天井内黒塗装』となっている各事務所や会議室等が、それに当たるという理解で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
162	E-015・E-017 警報のブロック図と警報盤リストに相違があるように思います。 E-015ブロック図を正と考えて宜しいでしょうか。	E-017警報盤リストを正としてください。
163	E-025 HP2のポールに重耐塩塗装と記載がありますが、HP1のポールには記載がありません。 HP1のポールも重耐塩塗装を施す必要はございませんでしょうか。	HP1のポールは重耐塩塗装は不要です。
164	E-028 端子盤について、各設備の端子数を合算すると、実装数、総端子数の値に不足があるように思います。 各設備の端子数を正として宜しいでしょうか。	各設備の端子数を正としてください。
165	E-041 防災監視盤の連動操作盤については、凡例では40回路と記載がありますが、特記では50回路と記載されています。 特記を正として50回路と考えて宜しいでしょうか。	50回路を正としてください。
166	E-041 特記の火災受信機に訓練棟の回路数が含まれてないように思います。 訓練等は、単独警戒と考えて宜しいでしょうか。	訓練棟は単独警戒です。
167	E-102 オーバードア別置制御盤の2次側の配管配線に記載がないように思います。 ボックスの位置が不明のため、図示いただきますようお願いします。	E-046を参照ください。

168	E-111 凡例のフル2線式リモコン用熱線センサ自動スイッチ（子機増設）と（子機）の記号に不整合があるように思います。 （子機増設）をRNT増、（子機）をRNTとして考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
169	E-025・E-115・E-117 誘導灯試験装置の姿図では1回路用と記載がありますが結線図には4回路結線されております。 誘導灯信号装置は多回路用として考えて宜しいでしょうか。	誘導灯信号装置は1回路用としてください。
170	E-133 ELV盤につて、自火報設備図のみ1Fに記載されています。 他設備図と同様、ELV盤は3Fに設置で考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
171	E-134 車庫に設置する感知器について、図面に記載の差動式スポット型感知器は検知可能範囲が8m以下ですが、意匠図を確認する限りでは車庫の平均高さが8mを超えているように思います。 車庫に設置する感知器について、設置場所及び設置高さを考慮すると差動式分布型感知器が必要と思われるので、差動式分布型感知器として宜しいでしょうか。	車庫の平均天井高さは8m未満のため、差動式スポット型感知器としてください。
172	E-403 露出配管に天井埋込スピーカーがついているように思われます。 天井露出スピーカーと考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
173	E-005 数量書の受変電設備の屋外キュービクルに8面体と記載があるように思いますが1面はスペースと図面に記載があるようです。 7面体で考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
174	E-007～ 図面の項目には非常用発電機設備と記載がありますが、数量書には自家発電と記載があるように思います。 消防負荷がありますので消防認定品の非常用発電機設備と考えると宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

175	E-010～ 太陽光発電設備の数量書P30について、配管配線の記載がないように思います。 適宜拾い計上することとしますが、宜しいでしょうか。	適宜拾いを行い、取付工事費内に計上してください。
176	E-029図 消防指令システム・京都府衛星通信用空配管設備は参考数量書のどの項目に計上すればよろしいでしょうか。	構内交換設備に計上してください。
177	E-102図 オーバードア別置制御盤の2次側配線の記載がありませんがE-046図を参考に見込むと考えてよろしいでしょうか。	番号167の回答のとおりです。
178	E-102図 ルーフファンRF-1への電源がありません。詳細をご指示下さい。	番号157の回答のとおりです。
179	E-110 風向き・風速計への配線がありますが本体は別途と考えますがよろしいでしょうか。	本体は別途工事です。
180	E-05 倉庫(5)(6)(7)(8)のLEDフラッシュライトとIPインカムドア端末は将来対応ですが、平面図E-128では機器納品になっています。 別途でしょうか、納品でしょうか。(参考数量書ではこの4台ずつは計上されていません。)	納品として、4台追加で計上してください。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。
181	E-101他 注記4. ルーバー天井内の黒塗装の範囲は意匠図A-101図他内部仕上表の天井内黒塗装の範囲と考えてよろしいでしょうか。	番号161の回答のとおりです。
182	E-001 特記仕様書の耐震施工は特定となっておりますが、ケーブルラックの記載がないように思いますので、不要と考えてよろしいでしょうか。 必要の場合耐震クラスはSA種でよろしいでしょうか。	番号159の回答のとおりです。
183	E-003 全体図にLEDポール灯WSP2に並んでワイドホーンスピーカーが記載されておりますが、LEDポール灯に取付と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

184	E-005 変圧器の防振装置についての記載がありません。 キュービクルが地上設置の為、防振ゴムとして考えてよろしいでしょうか。	番号160の回答のとおりです。
185	E-013・E-101他 注記にて天井ルーバー部のケーブルラックは指定色（黒、艶なし）、同じく照明器具等の支持材（吊りボルト、チャンネル鋼等）は黒色塗装とする、と記載がありますが、意匠図では具体的に『天井ルーバー部』という記載がございません。 意匠図仕上表にて、『天井内黒塗装』となっている各事務所や会議室等が、それに当たるという理解でよろしいでしょうか。	番号161の回答のとおりです。
186	E-013・E-101他 ルーバー天井内のケーブルラック及び照明器具等の支持材（吊りボルト、チャンネル鋼等）は黒塗塗装とありますが、照明器具及び弱電機器の塗装は不要と考えてよろしいでしょうか。	器具本体の塗装は不要です。意匠図仕上げ表にて天井内黒塗装と記載のある室の支持材の塗装を見込んでください。
187	E-015・E-017 警報のブロック図と警報盤リストに相違があるように思います。 E-015ブロック図を正と考えてよろしいでしょうか。	番号162の回答のとおりです。
188	E-025 HP2のポールに重耐塩塗装と記載がありますが、HP1のポールには記載がありません。 HP1のポールも重耐塩塗装を施す必要はございませんでしょうか。	番号163の回答のとおりです。
189	E-028 端子盤について、各設備の端子数を合算すると、実装数、総端子数の値に不足があるように思います。 各設備の端子数を正としてよろしいでしょうか。	番号164の回答のとおりです。
190	E-041 防災監視盤の連動操作盤については、凡例では40回路と記載がありますが、特記では50回路と記載されています。 特記を正として50回路と考えてよろしいでしょうか。	番号165の回答のとおりです。
191	E-041 特記の火災受信機に訓練棟の回路数が含まれてないように思います。 訓練等は、単独警戒と考えてよろしいでしょうか。	番号166の回答のとおりです。

192	E-102 オーバードア別置制御盤の2次側の配管配線に記載がないように思います。 ボックスの位置が不明のため、図示いただきますようお願いいたします。	番号167の回答のとおりです。
193	E-111 凡例のフル2線式リモコン用熱線センサ自動スイッチ（子機増設）と（子機）の記号に不整合があるように思います。 （子機増設）をRNT増、（子機）をRNTとして考えてよろしいでしょうか。	番号168の回答のとおりです。
194	E-025・E-115・E-117 誘導灯試験装置の姿図では1回路用と記載がありますが結線図には4回路結線されております。 誘導灯信号装置は多回路用として考えてよろしいでしょうか。	番号169の回答のとおりです。
195	E-133 ELV盤につて、自火報設備図のみ1Fに記載されています。 他設備図と同様、ELV盤は3Fに設置で考えてよろしいでしょうか。	番号170の回答のとおりです。
196	E-134 車庫に設置する感知器について、図面に記載の差動式スポット型感知器は検知可能範囲が8m以下ですが、意匠図を確認する限りでは車庫の平均高さが8mを超えているように思います。 車庫に設置する感知器について、設置場所及び設置高さを考慮すると差動式分布型感知器が必要と思われますので、差動式分布型感知器としてよろしいでしょうか。	番号171の回答のとおりです。
197	E-403 露出配管に天井埋込スピーカーがついているように思われます。 天井露出スピーカーと考えるとよろしいでしょうか。	番号172の回答のとおりです。
198	E-005 数量書の受変電設備の屋外キュービクルに8面体と記載があるように思いますが1面はスペースと図面に記載があるようです。 7面体で考えてよろしいでしょうか。	番号173の回答のとおりです。
199	E-007～ 図面の項目には非常用発電機設備と記載がありますが、数量書には自家発電と記載があるように思います。 消防負荷がありますので消防認定品の非常用発電機設備と考えるとよろしいでしょうか。	番号174の回答のとおりです。

200	E-010～ 太陽光発電設備の数量書P30について、配管配線の記載がないように思います。 適宜拾い計上することとしますが、よろしいでしょうか。	番号175の回答のとおりです。
＜ 機 械 設 備 ＞		
201	M-001, A-009 工事区分表 衛生設備工事関係で(13)厨房流し台, (14)厨房機器は機械設備ですが、機械設備特記仕様書 工事科目で厨房機器設備は本工事外により、特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
202	M-001 特記仕様書 共通事項の保温仕様より 給排水管(ポリスチレンフォーム)、その他(グラスウール)は標準仕様書の保温材種別と考え、材料区分と施工箇所は標準仕様書通りで宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
203	M-001・122 特記仕様書 共通事項の鋼材では 屋外部分 ステンレス鋼製ですが、機器表 受水槽鋼製平架台(溶融亜鉛メッキ仕上)を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
204	M-110 空調配管設備 2階平面図の署長室のドレン縦管は他と同様に防火区画貫通処理は必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
205	M-110, A-009 空調配管設備 2階平面図の指令センター機械室に室内機コンクリート基礎(2箇所)とありますが、工事区分表での設備用既製基礎以外の屋内基礎(建築工事)を正と考えて宜しいでしょうか。	基礎は機械設備工事とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
206	M113～116 タ`外設備図のVHS(フィルター付)においてフィルターはサリネットと考えて宜しいでしょうか。	プレフィルタ、PS-150相当とします。
207	M-121・122・134, A-511 給排水 屋外詳細図のグリーストラップ`及びオイルトラップ`は意匠 外構詳細図(5)と同様の為、排水ポンプ(PD-1～3)の排水槽も建築工事と考えて宜しいでしょうか。又、排水槽(3箇所)の仕様を御指示頂けますでしょうか。	機械設備工事とします。 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)、RC-5相当とします。

208	M-122 排水ポンプ (PD-1) 制御盤(屋内壁掛型)はどの辺りを想定し、又 排水ポンプ (PD-2, 3) 制御盤(屋外自立型)は各排水槽の最寄り設置と考えて宜しいでしょうか。	設置場所は別途提示するM-121の図面を参照ください。 PD-3は屋内壁掛型とします。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、項目及び数量に差異がある場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
209	M-122 塩素滅菌装置(MP-1)の参考品番がございましたら、お教え頂けますでしょうか。	タクミナ：PTS-120-CLPW-30-ATCF-HWJ オーヤラックス：OMU- Y-100KF メーカー指定ではないため上記同等品以上とします。
210	M-122 オゾン除去システム(BT-1) 1式の内訳数量をお教え頂けますでしょうか。	濃度計搭載オゾン水生成器、キャリー、ハンドガン・10mホース、放水車アタッチメント、CT値自動積算計搭載オゾンガス除染装置、小型除染テント、オゾン除染テントシステム(小型)、耐オゾンマスク、吸収缶、救急車搭載型オゾンガス発生器を各1とします。
211	M-123, A-127 男女トイレ(2)の手洗いが平面詳細図(6)では壁掛形ですが、衛生器具表(カウンター形)を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
212	M-123, A-131 車庫 衛生設備 1階平詳図では足洗パン(水栓×2)、手洗い(水栓×2)ですが、衛生器具表(足洗パン：シャワー水栓×3、手洗い：水栓×3)を正と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
213	M-301・302 訓練棟 換気機器表の給気ユニット(OAU-K-1)、フィルターユニット(AFU-K-1)の参考品番がございましたら、お教え頂けますでしょうか。	ニッタ：中性能・プレフィルタユニット：1x2PM-P03-SP メーカー指定ではないため上記同等品以上とします。
214	M-113～M-116 SA・RAチャンバーについて寸法と消音内貼の有無を御指示下さい。	別途提示するM-113、M-115、M-116の図面を参照ください。
215	M-121 PD-1, 2のポンプ槽の仕様を御指示下さい。	公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)、RC-5相当とします。
216	特記仕様書(M-001)の共通事項に記載されている保温材仕様は、給水管、排水管がポリスチレンフォーム・その他はグラスウールとなっていますが、その他とは屋内給水管のこととして宜しいでしょうか。また、屋内排水管は耐火二層管の為保温不要として宜しいでしょうか。	前段、後段ともお見込みのとおりです。

217	特記仕様書(M-001)の共通事項に記載されている保温材仕様に、給湯管の仕様が記載されていません。ご指示下さい。	材質：ロックウール保温筒、保温外装は屋内は隠ぺい、屋外はSUS鋼板。
218	空調設備機器表(M-101~103)のエアコン室外機用ブラケット架台と転倒防止金具に材質の記載がありませんが、特記仕様書(M-001)の共通事項では、屋外部分の鋼材はステンレス鋼製(SUS304)と記載されています。ブラケット架台と転倒防止金具もステンレス製として宜しいでしょうか。	溶融亜鉛メッキ鋼板とします。
219	給排水衛生設備機器表(M-122)に、受水槽用平架台は溶融亜鉛メッキ仕上と記載されていますが、特記仕様書(M-001)の共通事項では、屋外部分の鋼材はステンレス鋼製(SUS304)と記載されています。機器表通りとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
220	特記仕様書(M-002)の換気設備に、ダクトの工法はスパイラルダクトとありますが、材質の指定がありません。ユニットシャワー及びユニットバスの排気ダクトはステンレス鋼板、その他屋内は亜鉛メッキ鋼板として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 M-112を参照ください。
221	特記仕様書(M-002)の消火設備欄に消火器が記載されていませんが、M-131詳細図に消火器の図示があります。特記仕様書通り、別途工事として宜しいでしょうか。	機械設備工事ではなく、建築工事に含みます。 ただし、工事費の積算については、参考数量書を基に行ってください。 なお、数量の差については、設計変更の対象とします。
222	空調設備機器表(M-101~103)の付属品他に記載されているエアコン室外機用ブラケット架台は、メーカー既製品として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
223	24時間換気非対応の小型送風機、天井埋込形換気扇、ルーフファン、ベンチレーター、シロッコファン、有圧扇のスイッチ本体及び取付配線工事は電気工事として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
224	24時間換気対応の天井埋込形換気扇用スイッチ本体は本工事とし、取付・配線は電気工事として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

225	2階平面図(M-110)指令センター機械室に設置されている、室内機コンクリート基礎(900×700×300H)2箇所は本工事とありますが、工事区分表(A-009)1基礎(2)に屋内の設備用既製基礎以外は、建築工事と記載がありません。建築工事として宜しいでしょうか。	番号205の回答のとおりです。
226	2階署長室のドレンの立管に防火区画貫通処理の図示がありませんが、他のドレン立管同様に防火区画貫通処理をするものとして宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
227	フィルター付VHSに付属しているフィルターの種類をご指示ください。	番号206の回答のとおりです。
228	1階・2階・3階ダクト設備平面図(M-113・115・116)の注記に、EAダクトは外壁から2mは保温施工の事と記載されていますが、1階食堂、2・3階休憩室のキッチン排気ダクトはRW全巻として宜しいでしょうか。また保温の厚みをご指示下さい。	お見込みのとおりです。 保温の厚みはt=50mmとします。
229	消防本庁、車庫棟の薄形フラットフード及び有圧扇用ウエザーカバーは、指定色塗装として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
230	消防本庁2階階段室(1)・廊下(2)・会議室(1)(2)・署長室・消防課事務室・警防課事務室・吹抜、3階ホール・相談コーナー・総務課事務室・会議室(1)(2)・消防長室・予防課事務室・大会議室のルーバー天井内保温の仕様は、隠蔽仕様として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。 天井内の機器器具、配管、ダクト、保温外装材は全て黒色での外装又は塗装とします。
231	水道引込工事及び下水本管接続工事に伴う道路仮復旧は本工事、道路本復旧は建築工事として宜しいでしょうか。	機械設備工事とします。
232	PD-1・2・3用ポンプ槽は建築工事として宜しいでしょうか。	機械設備工事とします。 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)、RC-5相当とします。
233	塩素滅菌装置(MP-1)のメーカーと参考型番をご指示ください。	番号209の回答のとおりです。

234	機器表 (M-122) の受水槽欄に電極座と電極棒の記載がありますが、取付及び配線工事は電気工事として宜しいでしょうか。(電気図面E-013・E-015に配線図の記載あり)	お見込みのとおりです。
235	排水ポンプ(PD-1)用制御盤が屋内壁掛型となっていますが、制御盤設置場所が不明です。ご指示ください。	別途提示するM-121の図面を参照ください。
236	排水ポンプ(PD-2・3)用制御盤は屋外自立型となっていますが、ポンプ槽の直近に設置するものとして宜しいでしょうか。またコンクリート基礎工事は建築工事として宜しいでしょうか。	番号208の回答のとおりです。
237	柵記号33付近にある汚水槽は建築工事として宜しいでしょうか。	別途土木工事(1期工事)です。
238	BT-1オゾン除去システムのBT-06人除染用対オゾンマスクの数量が記載されていません。数量をご指示下さい。	番号210の回答のとおりです。
239	工事区分表(A-009)に、厨房流し台は機械設備工事となっていますが、器具表(M-123)に、キッチンは建築工事と記載されています。建築工事として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
240	1階食堂、救急洗浄消毒室、車庫の手洗い・足洗い、2・3階休憩室の流しは建築工事として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
241	男子トイレ(2)と女子トイレ(2)に設置されている洗面器が、平面図(M-131)では壁掛洗面器となっていますが、器具表(M-123)では洗面器ユニット(カウンター一体タイプ)となっています。器具表を正として宜しいでしょうか。	器具表を正とします。
242	車庫足洗パンに設置されているシャワーバス水栓(BF-KA145TSG)の数量が、器具表(M-123)では3個ですが、平面図(M-131)では2個となっています。平面図を正として宜しいでしょうか。	器具表を正とします。
243	車庫手洗いに設置されている混合水栓(SF-WN432SY)の数量が、器具表(M-123)では3個ですが、平面図(M-131)では2個となっています。平面図を正として宜しいでしょうか。	器具表を正とします。

244	訓練棟4階に設置する給気ユニット(OAU-K-1)の参考型番をご指示ください。	番号213の回答のとおりです。
245	BT-1オゾン除去システムのBT-06人除染用対オゾンマスクの数量が記載されていません。数量をご指示下さい。	番号210の回答のとおりです。
246	屋内貯蔵所の換気平面図に、ためマス300×300の記載がありますが、材質・蓋・深さなどの詳細が記載されていません。建築工事として宜しいでしょうか。本工事とする場合は、詳細をご指示下さい。	建築工事とします。
247	M-113 ダクト設備1階平面図(1)にて、WHG-2の給湯器は排気用チャンバーに接続との図示がありますが、EAダクト接続不可であり単独トップにて排気すると考えて宜しいでしょうか。	M-114図を参照ください。 確認検査機関と協議済みです。
248	M-103, 111 ACP-302のエアコンの仕様について、機器表では2方向エアコンとなっていますが、平面図では壁掛けエアコンで室外機の表記がありません。機器表を正と考えて宜しいでしょうか。	機器表を正とします。
249	M-120, 144 西側新設道路に給水本管およびガス本管が敷設され、その本管から引込となっております。この本管工事は別途工事と考えて宜しいでしょうか。また、本管工事の施工時期をお示しください。	本管は施工済み（水道局・大阪ガス）です。 本管からの分岐を本工事とします。
250	M-121 排水ポンプPD-1, PD-2の排水槽の仕様をご指示下さい。	番号215の回答のとおりです。
251	M-121 グリーストラップですが建築図A-501, 511図にも記載があります。どちら工事でしょうか。	建築工事とします。
252	M-135 乾燥機本体も本工事でしょうか。	本工事とします。
253	M-308 水抜き排水先をご指示下さい。	最寄雨水桝とします。

254	M-107 空調ドレン管が図面では耐火二層管とVP管ですが、参考数量書ではSGP（白）とVP管になっています。ど図面が正でよろしいでしょうか。	参考数量を正とします。
255	M-124 排水管・通気管が図面では耐火二層管ですが、参考数量書では鋼管になっています。図面が正でよろしいでしょうか。	参考数量を正とします。
256	M-124 地中埋設給水管が図面ではHIVPですが、参考数量書では鋼管になっています。図面が正でよろしいでしょうか。	参考数量を正とします。
く そ の 他 >		
257	C-011 3段目駐車場及び回転場（接続道路）敷地は、工事期間中の工事車両の駐車場として全工期使用してよろしいでしょうか。	監督職員と協議の上、使用可能とします。
258	同上、工事車両の駐車場に使用にあたり注意事項ありましたらご提示ください。また、造成工事の仕上げは現地土と考えてよろしいでしょうか。	アスファルト工事の支障がないように注意ください。 現状の仕上げは現地土です。
259	建築関連現場説明書P4. 交通誘導員警備員B 475名は指定数量と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 増減が発生する場合は、監督職員と協議の上、設計変更の対象とします。
260	参考数量表 共通仮設費、積上共通仮設の細目及び参考数量をお教え下さい。	共通仮設費の参考数量表を別途提示します。
261	現場説明書P4 2.11)の交通誘導警備員B 総計475名は指定数量とし、近隣及び諸官庁等の要望により増員が必要な場合は別途精算と考えて宜しいですか。	番号259の回答のとおりです。
262	現場説明書P4 2.13)に記載の本工事地内の通路の位置を御指示下さい。また、通路において工事期間中第三者の通行が常時可能な計画で工事を進める必要があるのでしょうか。	監督職員と協議によります。 第三者の通行はありません。

263	本工事敷地内通路において、工事期間中第三者の通行が必要な場合、通行の対象(歩行者、乗用車等)及び通路の仮設仕様を御指示下さい。	番号262の回答のとおりです。
264	近隣家屋調査は、別途と考えて宜しいですか。今回工事に含まれる場合は、対象家屋を御指示下さい。	近隣家屋調査は不要と考えています。
265	建築工事敷地境界外の土木工事ヤード部は、工事期間中仮設事務所、仮設駐車場、資材置き場等ののヤードとして利用出来るものと考えて宜しいですか。	番号257の回答のとおりです。
266	参考数量書の取扱いですが、契約時の内訳明細書や施工中の設計変更時などに、この参考数量書を利用すると考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
267	入札説明書P12-13 入札書に記載する金額について税抜金額を記載し、下三桁を切捨てた金額が入札金額であるとの解釈でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
268	入札説明書P7 落札者の決定方法に関して税抜予定価格以下で税抜最低制限価格以上の範囲内で最低の価格により入札したものを落札者とするがありますが、最低制限価格の設定等は木津川市の入札制度に準ずるものと考えてよろしいでしょうか。	非公開です。
269	入札説明書P13 入札時に提出する工事費内訳書に関しては指定の様式に記載されている項目のみで、下位の明細は不要と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
270	現場説明書I-2-1)-②「造成工事の進捗状況によっては、令和6年3月初旬から現場着手が可能」との記載について、具体的にはどの程度の工事に着手出来るという見通しでしょうか。ご教示ください。	造成工事は3月29日まで行われ、着手可能な時期は3月上旬になります。
271	A-010図：敷地境界ラインより西側の駐車場用地も、工事エリアとして工事期間中に工事事務所設置等の仮設利用が可能と考えてよろしいですか？ご指示ください。	番号257の回答のとおりです。
272	A-010図：敷地内の計画道路は工事着手時には共用されていないものと考えていますがよろしいでしょうか。ご指示ください。	お見込みのとおりです。

273	A-010図：工事の仮設給排水・電気は上記の計画道路から可能でしょうか？接続、使用可能な給排水、電源設備の位置をご指示ください。	関係機関と協議の上、確認ください。
274	A-010図：北側等山林斜面側は人の進入は考えられないため通常の仮囲いは無しとし、野生動物侵入防止を考慮する程度と考えていますがよろしいでしょうか？ご指示ください。	お見込みのとおりです。
275	現場説明書 2. 施工にかかる条件 11) 交通誘導員の配置総計475名は指定仮設としてお見積りしますがよろしいでしょうか。近隣要望や警察指導等により増員が必要となった場合は精算対象と考えていますがよろしいでしょうか。ご指示ください。	番号259の回答のとおりです。